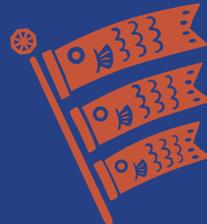




柿本あきひろ 市政報告レポート REPORT

ごあいさつ

若葉の候 ますますご壮健のこととお喜び申し上げます。
 さて、元日に発生した地震から4カ月が過ぎました。
 改めまして、お亡くなりになられた方、被災された方に、
 心よりお悔みとお見舞いを申し上げるとともに、休日、昼夜問わず、
 復興支援にご尽力されているすべて皆様に、心から尊敬と敬意を表します。
 能登地方甚大ではありませんが、金沢にも地震の被害や影響は多数あり、
 その対応に関してさまざまなご要望やご質問をいただき、対応させていただきました。
 また、能登からの被災者と接する機会もあり、可能なご支援をさせていただきました。
 石川県全体で、復旧や復興は長期に渡る事業となります。
 今後もしっかりと対応をしていきます。
 議員生活はちょうど一年を迎え、重要な3月定例会議では、新年度の当初予算や、
 今後十年の金沢都市像の基盤となる未来共創計画を議論いたしました。
 新年度の所属は、建設企業委員会となり、副委員長を拝命ささげいただき、
 新たな気持ちで取り組んで参ります。
 今回、『柿本あきひろ市政報告レポート』の第3号を発行いたします。
 震災対応をはじめとした昨年末から本年3月までの活動内容と
 3月議会の一般質問の内容を中心に記載しました。
 日々の活動をご覧いただき、ご意見やご提案がございましたら、どうぞお気軽にお知らせください。
 今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻、どうぞよろしく願いいたします。



金沢市議会議員 ^{あきひろ} 柿本 章博

各種 SNS などでも最新の情報を発信しております。



インスタグラム



フェイスブック



エックス
(旧ツイッター)



公式ライン



ホームページの内容を拡充しました。
<https://kakimotoakihiro.com/>

柿本あきひろ Profile

1967年 金沢市生まれ、諸江町小、浅野川中、金沢泉丘高、東北大卒業、東北大院修了
 1992年 (株)PFU入社(7年間の米国駐在)、2023年 (株)PFU退社、金沢市議会議員選挙で初当選
 建設企業常任副委員長 公共交通特別委員 自由民主党金沢市議員会所属(事務局次長)

柿本あきひろ 市政報告レポート
REPORT

発行者 柿本あきひろ事務所
 〒920-0015 金沢市諸江町上丁206-9
 TEL(076)201-8884 FAX(076)201-8682
 info@kakimotoakihiro.com

事務所公式キャラクター
 かっきー君





質問の映像はこちらをご覧ください。

3/12 3月定例月議会で一般質問に立たせていただきました。質疑の内容は以下の通りです。

令和6年能登半島地震について

Q1 地震当日、各避難所でかなりの混乱があった。地域防災計画及び防災マニュアルの改定が予定されているが、今回の経験をどのように反映するのか。

A1 本地震では、これまでに経験したことがない被害が発生するとともに、津波警報が発令され、交通渋滞が起きたほか、一部の避難所においては、開設や運営に混乱が見られるなど、発災時に多くの課題があったと考えている。広範囲かつ甚大な被災地区の迅速な復旧に向けても、多くの課題が浮き彫りとなっており、これらの課題を検証し、地域防災計画や避難所運営マニュアルなどの見直しに反映させていく。(市長)



避難所の様子(1.1 諸江町小学校)

Q2 先月、盛岡市を行政視察したが、同市では、「もりおか復興支援センター」を開設し、現在も支援や追跡を継続している。本市でも、長期滞在を想定した支援の準備や、選任の部署の設置も必要ではないか。

A2 現在、本市では総合窓口での各種対応や避難所の運営は、関係課が連携して支援を実施している。一方で、避難の長期化も想定され、仮設住宅の建設状況も見極めなければいけない。被災者を支援するために、どのような体制が有効であるか、他都市の事例を調査研究しながら、検討していきたい。(市長)

共創文化都市金沢のデジタル化推進について

Q3 今回提示された「未来共創計画」と、これまで運用してきた「金沢市DXアクションプラン」の二つの計画の関係性について説明を求める。

A3 未来共創計画は、都市像に掲げる5つの分野からなる基本方針ごとに講じるべき主要な施策をまとめた**市政運営の最上位計画**である。一方DXアクションプランは、デジタルによる社会や地域経済の変革を進めるための方針であり、**具体的な取り組みを定める個別計画**として位置づけている。この2つの計画を相互に連携連動させ、本市におけるデジタル化を強力に推進していきたいと考えている。(市長)

Q4 導入予定の「書かない窓口」の、具体的内容、設置場所、対象の申請や窓口、市民側のメリット、マイナンバーカードシステムの安全性を問う。

A4 マイナンバーカードの暗証番号や顔認証機能を活用することで、**申請者が申請書に氏名等を、記載することなく、窓口において対面によるヒアリングだけで証明書等の交付手続きが完了するものである。**市民課窓口で導入を予定しており、住民異動届、戸籍証明書、印鑑登録証明書、税に関する証明書等の諸証明、マイナンバーカードに関する各種手続きを予定している。導入により、**高齢者や障がいのある方などの負担の軽減**につながる。さらに、**待ち時間の短縮により窓口の混雑緩和**も期待している。(市長)

使用するシステムは、**インターネット環境を利用するものではなく、外部に情報漏洩をすることはない。**また、暗証番号の入力や顔認証機能により、**厳正な本人確認を行うため、安全性には問題はない。**(市民局長)

Q5 デジタル活用推進費は、チャットGPTの庁内利用の拡大とのことだが、**具体的内容やセキュリティリスク**対応について伺う。また、他自治体では、**庁外サー**

ビスの事例もあるが、本市での可能性はどうか。

A5 今年度実施した生成AI試行の結果を踏まえ、明年度は全庁的な利用喚起を整備するとともに、各課共通の財務会計システム、マニュアル等のデータを学習させた庁内向けAIチャットボットを構築する予定であり、職員間問い合わせなどの事務負担軽減を期待している。なお、これらの環境は、行政機関専用ネットワークでのみ利用可能とする他、生成AI利用ガイドラインを策定し、個人情報や機密情報の漏洩を防止が可能である。庁外サービスは、明年度の庁内利用の成果を踏まえ、展開を見極めていきたい。(総務局長)

Q6 健康ポイントアプリ導入費に関して、このアプリ化のメリット、新機能追加の可能性、また、ポイント移行は問題ないか伺う。

A6 アプリの導入のメリットは、歩行数を自動的に記録できるなど、利便性が向上する他、新機能として、アプリを通じて対象者の性別や年齢層に応じた情報発信が可能となるため、本機能を活用し、健康づくりに役立つ情報を周知していく。加えてスマホ世代である、若年層の利用増加につながることも期待している。また、紙ベースのポイントをアプリの移行は考えていないが、手帳は発行から一年間有効であり、その間にポイントの利用が可能である。(福祉健康局長)

Q7 除雪管理システム運用費の具体的な内容と、システムが目指す姿、導入後のメリットを問う。また、本市以外の広域な情報連携も必要だが、見解を問う。

A7 このシステムはGPS端末を除雪機外に設置することで、除雪作業本部にしながら除雪機械の稼働状況や作業の進捗状況などをリアルタイムに把握することができるシステムである。これにより、地区ごとの進捗状況に応じた除雪応援体制が構築でき、迅速かつ効率的な除雪作業が可能となるほか、作業状況を把握することで、住民からの問い合わせに対し、作業開始の予想時刻などを伝えることができる。次に、県内全域の情報連携については、システムで得られるデータは、県が準備している広域連携基盤で活用も可能であると認識しており、発信する内容や方法などを県や県内他自治体と協議を進めていきたい。(土木局長)

Q8 次世代ICT人材育成強化費に関して、具体的な内容と次世代ICT人材育成における、本市の目指すべき姿について見解を伺う。



第5回加能ガニロボットコンテスト 金沢ロボ活チームが優勝

A8 付加価値の高い新産業の創出に向けて、石川県情報システム工業会と連携し、小学生から大学生までを対象とした次世代ICT人材育成拠点機能をITビジネスプラザ武蔵に構築したいと考えている。具体的には、これまでの金沢IT部活や金沢ロボ活に加えて、メタバースやシビックテックなどをテーマに、IT部活の卒部生や大学生がIT企業と共創する「金沢IT部活アカデミーベンチャー」を創設し、体系的な人材育成を図ることで、金沢の未来を作り上げる産業人材を育成輩出し、地場産業の成長発展につなげたい。(市長)

金沢スタジアムについて

Q9 オープニングセレモニーとこけら落としを観戦された市長の感想やスタジアムへの思いを伺う。



A9 天候にも恵まれ、8,500人を超える観客を迎えた。北陸ダービー前哨戦が行われ、スタジアム完成を大変嬉しく思った。北陸初のサッカー専用スタジアムが生み出す臨場感を体感し、大勢のサポーターや市民県民から熱い声援が送られ、ツエーゲン金沢、カターレ富山 両チームへの今後の飛躍を期待する気持ちを感じた。今後、金沢スタジアムが、子どもたちの夢と憧れの舞台として、そして、市民に愛されるスポーツ交流拠点となるよう、さらなる気運の醸成と本市スポーツ文化の推進に、努めていきたい。(市長)

Q10 こけら落としは、スタジアム定員に近い盛況となったが、警備員配置は計画通りだったか、また、駐車場、無料バス、電車、徒歩などの利用者は想定数と比較してどうだったのか。さらに、Jリーグ開催時のスタジアム周辺の交通状況の課題と対応策を問う。

A10 当日は、運動公園内はもちろん、近隣商業施設の駐車場で、計画通り33名の警備員を配置した。駐車場は事前予約による1,313台の利用、シャトルバスによる輸送は約3,000人の想定に対し4,077人の利用があった。浅野川線の詳細な乗車人数は、把握できないとのことだが、IRいしかわ鉄道は通常の1.4倍程度の乗客数と聞いている。(文化スポーツ局長)

当日の交通状況は、駐車場の事前予約や無料シャトルバスでの来場を広く呼び掛けたことにより、一時、会場周辺で渋滞が見られたが、大きな混乱はなかったと承知している。一方で、自転車や徒歩での来場者に対する、交通整理の必要性など新たな課題も見られたことから、今後、誘導看板の設置や、警備員の効率的な配置により、歩行者の安全確保とともに、円滑な来場退場を徹底するよう、主催者に指導していく。(市長)

Q11 オープニングマッチやJリーグホーム開幕戦では、想像以上に徒歩の方が多く、歩行者が車道にはみ出す状況だった。周辺歩道の整備が必要ではないか。

A11 スタジアム周辺の歩道整備は、引き続き大規模イベント開催時の歩行者と車両の通行状況を把握することが必要と考えている。その結果を踏まえ、整備の必要性を検討していく。まずは、できる限り歩道のある道路を利用いただくよう周知に努め、車道を歩かないよう、警備員から声かけしていきたい。(市長)

Q12 金沢スタジアム周辺活性化事業の具体的な内容、また、イベントで市民がピッチに立てるか伺う。

A12 城北市民運動公園内の全施設で、複数競技を体験できるイベント、筋力測定、反射神経テストなど、自身の体カスポーツの適性を図るスポーツ版人間ドックを実施することで、家族で楽しくスポーツに親しむ機会を提供したい。また、元サッカー日本代表選手と地元チームの親善試合、少年教室等も予定しており、こうしたイベントの中で、市民がピッチに立てるよう計画していきたい。(文化スポーツ局長)

Q13 フィールド、会議室、防災倉庫などを、含めた市民向けスタジアムツアーを提案するがどうか。

A13 スタジアム内の貸出事業のPR、さらに、ツエーゲン金沢の応援機運の醸成等に有効であると考えている。民間事業者である指定管理者の自主事業として実施できないか提案してみたい。(市長)

市民生活を支える交通ネットワークについて

Q14 「みなし上下分離方式」の協議のための石川中央都市圏地域公共交通協議会が延期になっている。本協議会の状況、再開の見通しなどを伺う。

A14 協議会は、能登半島地震への対応のため、県や沿線市町との協議が整わず1月の開催を延期した。北陸鉄道線は、市民にとって欠かせない大量輸送機関であるが、車両施設の老朽化など、安定運行のため対処すべき課題が、目前に迫っており、引き続き令和7年度からの見なし上下分離への移行を見据え、県や沿線自治体等との協議を進め、早期合意を目指す。(市長)

Q15 本市におけるモビリティハブの現状と今回、基本設計の方針を伺う。また、パークアンドライドが未整備の浅野川線についての考えを伺う。

A15 本市におけるモビリティハブについて、地域の拠点となる鉄道駅やバス停などにパークアンドラ

イド駐車場や駐輪場、待ち合い空間などを整備し、各交通手段の接続乗り継ぎがスムーズに行える交通結節点として機能するよう構築したい。現状では、鉄道駅や主要なバス停が交通手段の乗り継ぎ拠点となっているが、これらを活用するだけでなく、地域の実情に応じた拠点も必要と考えており、候補地の選定、設置すべき施設などの検討を本格化していく。

鉄道線沿線でのパークアンドライドは、利便性を高め、また街中への過度な自家用車の流入を防ぐため、重要な政策と認識している。一方で浅野川線については、浅野川の堤防と住宅地との間に敷設された箇所が多く、駐車場や進入路の各空間を確保することは非常に難しく、整備が進んでいない。駐車場の整備が難しい中で、今後、浅野川線におけるモビリティハブの構築の可能性を研究していきたい。(市長)

Q16 浅野川線の利便性向上にむけ、機能強化や周辺の交流賑わい機能など、短期的、中長期的にわたる取組が必要と考えるが、その検討状況を伺う。

A16 浅野川線は、本市の公共交通重要路線として大きな役割を担っており、利便性向上により地域の財産として生かしていくことが必要である。今後、みなし上限分離の議論と合わせ、北陸鉄道線の存在価値を高め、利便性を向上させる取り組みを具体化していく。なお、モビリティハブ機能の強化や新駅の設置などは、技術的な観点も含め、中長期を見据えて検討すべき課題であると考えている。(市長)



Q17 本市の交通政策を組みわせ、さらに一歩進める事により「バス、鉄道、シェアサイクル、パークアンドライドの共通の使い放題、乗り放題(サブスク)のサービス」が実現可能と考え提案するがどうか。

A17 金沢MaaSは、鉄道、バス、まちのりなど、様々な交通手段を組み合わせ利用可能にすることで、市民の移動や生活の利便性を高めることを目指し、デジタル交通サービスのりまっし金沢を軸とした取り組みを進めてきた。また、令和7年度からの第三期まちのり開始に向け、鉄道とバスとの公共交通ネットワークの連携強化も進めていきたい。なお、ご提案のサブスクのサービスは、高い利便性の実現を可能とする仕組みと認識しているが、一方でシステム構築に極めて多額の費用が必要となるなどの課題もあり、引き続き研究していきたい。(市長)



令和6年能登半島地震関連

- 発災直後の諸江町小学校避難所運営（1.1～2）
地区の自主防災士のメンバーとして、諸江町小学校の避難所運営に携わる **Q1をCheck**
- 金沢市議会災害等対策会議（1.4）
市長より被害状況と対応の報告、質疑応答を実施



- 諸江地区自主防災会臨時会議（1.18）
諸江地区の自主防災会で、地区の避難所運営の課題を協議 **Q1をCheck**
- 村山市長へ能登半島地震に関する緊急要望書提出（2.1）

その他、震災対応として実施した事

- 道路、公園、各種建造物等の修復対応 ▶
- 県内一般公衆浴場の被災者無償化
- 二次避難者に向けた支援対応 等



危険個所の検出、応急処置、修復を実施

- 行政視察（盛岡市、復興庁）（2.15～16） **Q2をCheck**
東日本大震災復興における中核都市の役割を学ぶため、岩手県盛岡市を視察。また、復興庁では、土屋復興大臣に面会し、県内の状況について、直接ご説明した



盛岡市視察



土屋復興大臣と面会▶

- 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター／防災展示室 視察（3.2）

- 令和6年度 会派予算要望書提出（12.1）
- 自動車機能安全カンファレンス 2023（12.6）
- 量子コンピューティング技術シンポジウム（12.9）
- 大樋年朗（十代目左衛門）先生お別れの会（12.10）

- KANAZAWA YORUMEGURI STROLL（12.10）
尾山神社の特別祈禱と直会、夜のインバウンド向け企画の体験
- 地域交通特別委員会提言書を市長に提出（12.11）



Q14～17をCheck



ローカル局（北陸朝日放送）で報道がありました。



- 有機農業と宿泊税に関する勉強会（12.14）

- 12月定例会（12.1～15）
緊急支援給付や物価高騰対策などの補正予算や議案、陳情などを可決、採択
- 第5回 加能ガニロボットコンテスト（12.17）
金沢ロボ活チームが優勝 **Q8をCheck**
- 金沢武士団Bリーグ金沢市民応援DAY（12.23）
- NICT北陸連携サロン（1.10, 3.1）
- 1月緊急議会（1.24）
金沢市内の被災者支援とインフラ復旧、被災地への支援、物価高騰対策としての給付金など全会計50億1240億円の補正予算を全会一致で可決
- JAIST産学官共創フォーラム講演会（1.25, 3.27）
- 川北地区への金沢スタジアム状況説明会（1.30）



10.2開催のアップデートとして、地区懸念事項への対応状況をご説明

Q10～11をCheck

- 市民のためのデータ活用講座(2.3)
- 金沢市スポーツ協会 常任理事会(2.5, 3.19)
- 金沢市工芸展リバイバル in 銀座(2.16)
- 高岡・金沢広域観光シンポジウム(2.17)
- 金沢スタジアム 完成記念式典&オープニングマッチ(2.18) **Q 9~11 を Check**
- 諸江地区タウンミーティング(2.18)



- 諸江地区町会連合会 町会長会議(2.20)
『空き家対策について』、『まちなかの小動物の出没とその対応について』をテーマに勉強会を開催
- オートモーティブ・ソフトウェア・フロンティア(2.20-22)
- 令和6年度予算説明会(2.22) **Q 4~8 を Check**
- 第80回金沢市工芸展(2.23)
- 金沢市意見交換会(2.28)
- 金沢スタジアムJリーグ初戦(3.3) **Q 10~11 を Check**
- 諸江地区 各種団体/町会長合同会議(3.10)
金沢スタジアムで開催。地区功績優良者表彰式とスタジアム見学、防災の意見交換を実施 **Q 12~13 を Check**
- 北陸新幹線 金沢敦賀間開業イベント(3.16)



- 諸江町上丁第二町会総会(3.17)
- 明日への響き コンサート(3.20)

- 3月定例月議会(3.1-22)
2度の補正予算の審議、代表質問、一般質問、委員会審議、連合審査会を経て、一般会計総額1,904億円の来年度当初予算や今後十年の金沢都市像の基盤となる未来共創計画を可決
- 輪島復活朝市(3.23)
- ITビジネスプラザ武蔵20周年記念講演会(3.23)
- KOGEI Art Gallery銀座の金沢 移転 オープニング(3.24)



- 地方議員研究会(自治体病院の基礎と課題)(3.25)
- 割出町総会(3.30)
- ふくい桜マラソン2024(3.31)
フルマラソンを実走し(完走)、ランナー目線で運営上の課題を調査。参考にすべき点もあり、金沢マラソン担当課に報告



所属委員会の活動状況

経済環境常任委員会

開催日	主な事項
12.14	・「dining gallery銀座の金沢」運営状況 ・金沢市持続可能な観光振興推進計画2021の数値目標
1.11	所管内の地震関連を中心に議論(避難住民の受け入れ、被災地のゴミ受け入れ、市内のわれもの専用臨時置き場設置、中小企業相談融資制度窓口など)
2.13	・北陸新幹線金沢・敦賀間開業を記念した市民デジタルイベントの開催 ・令和6年能登半島地震発生による被災自治体支援とごみ処理施設の状況
3.14	・能登応援・震災復興キャンペーン ・金沢市ごみ処理基本計画(第7期)